
人の楽しいコロし方

蝸牛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人の楽しいコロし方

【Nコード】

N2975D

【作者名】

蝸牛

【あらすじ】

危ないクラスで生き残る僕の日記

人の楽しいコロし方

7時30分 起床

「うぁーうーんふーおーはぁー」とゆう奇声とともに起きてくるのが松尾鉦一

だるい・・・・・・・・・・だるいだるいだるいだるい

飯を食って家をでる

学校は自転車で行く

学校はつまらないけど面白い 面白いと結うのはともだちだ

とてもおもしろい

ぼくには闇の帝王とゆうともだちがいる

それはクラス全男子を従えているすごいおかただ

相手はどう見てるかには知らないがとにかく友達だ

そのクラスで裏切り、反抗などを闇の帝王の前ですると集団でこっげきされる

勿論闇の帝王はクラスの全男子のことを従えている

くらすには三つの集団で孤立している

ひとつは闇の帝王に従える男子生徒だ

もうひとつはあまり闇の帝王との接触をあまりもたない人間たちが集まってる

もうひとつは闇の帝王から捨てられた人間たちだ

かわいそうだ。でも同情はしない

したら敵にまわされるともできない

だから僕はたまにこっおもう

この世なんか消えちまえ

人の楽しいコロし方（後書き）

つかれた

絶句

ああ．．．．．僕は今．．．闇の帝王の家にいる
そこで確信する

僕は異常だ．．．．．

なにしているんだろう、僕は

片手に鉈を持っていた．．．血まみれの
今午前2時。

「逃げなきゃ」小さく囁く様に言った

闇の帝王の部屋は二階だ
一階には二人の大人が倒れていた．．．．．血まみれで
そうだ．．．僕は闇の帝王を殺した

しかも両親も殺した

別に殺す必要はなかった 邪魔なだけだった

午前2時 闇の帝王こと渡部仁史とその両親は殺害された
急いで外に出る

外はまだ真っ暗だった

次の日 布団にいた

寝ていた 出来るだけ昨日のことは思い出したくない
いつもどおり服を着て飯を食べて学校にいった

闇の帝王は欠席となっていた

当たり前か

学校から帰ってTVでニュースをみていた

「昨夜、渡部家で渡部仁史くん13歳

渡部香里さん44歳

渡部亮 さん45歳

が自宅で死体なり死んでるのがわかりました」

次の日クラスで先生が泣きながら教室に入ってきた
「昨日・・・わ、わ、渡部が・・・殺された」

クラスがしーんと静まり返った
すると「おいおい、先生悪い冗談はやめろよ」
渡部信者がいった

「おいなんでみんな静かなんだよ。
しかし大掛かりなどつきりだなあ
俺がかかると思ってたの？」

すると先生が新聞を見せてきた
そこには「渡部家。全員殺害」
と書かれていた

そのとき彼は絶句した
浅野嘉一は絶句した

目を開けると病院だった寝ているナゼこんなところにいるんだろうと思った

するとドアの前から声が聞こえてきた

「患者はおそらく精神的ダメージをうけています
しばらくそつとして置いてください」

すると母と病院の先生らしき人が入ってきた

「やあ、起きましたね」

病院の先生らしき人が言う

「ここどこですか、何でこんなところにいるんですか僕
そこは精神科だった

そう、僕は病院にいた……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2975d/>

人の楽しいコロし方

2010年10月28日08時23分発行